

インターネット・アンケート調査結果報告

平成27年6月

津山市総合企画部政策調整室

1 調査の概要

地区別懇談会、分野別懇談会、アンケート調査（懇談会参加者に対して実施）、グループインタビュー調査を実施した結果、市が組むべき課題として示された「雇用」「子育て」「交通」について、実情とニーズを把握するとともに、「津山市が今後目指すべき姿」や「整備していく環境」についての9つの施策に対し、「利用意向」「独自性」「推奨意向」を調査した。

2 調査の対象者

無作為に抽出した1,000名の市民に対し、インターネットによるアンケート調査の実施をお願いし、承諾いただいた174名のうち128名（男性54名、女性74名）に回答いただいた。

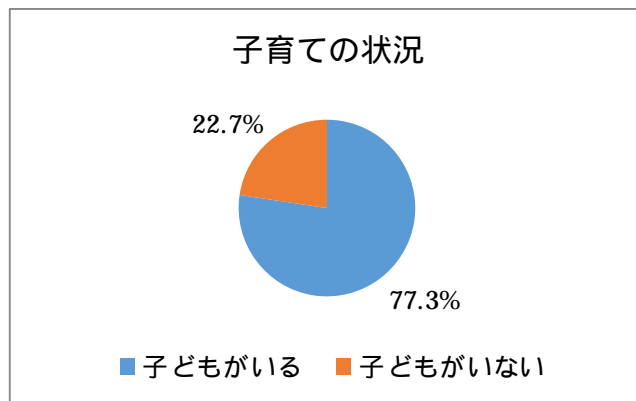
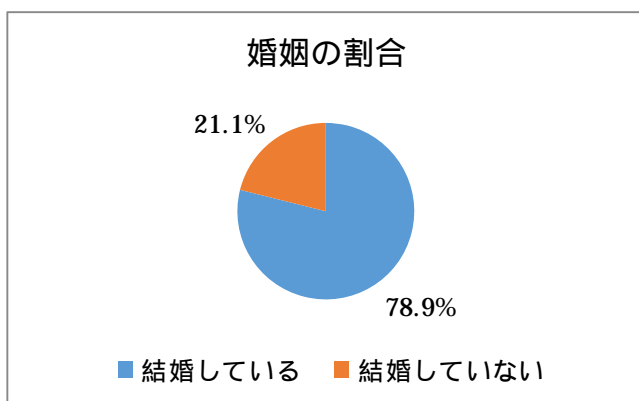
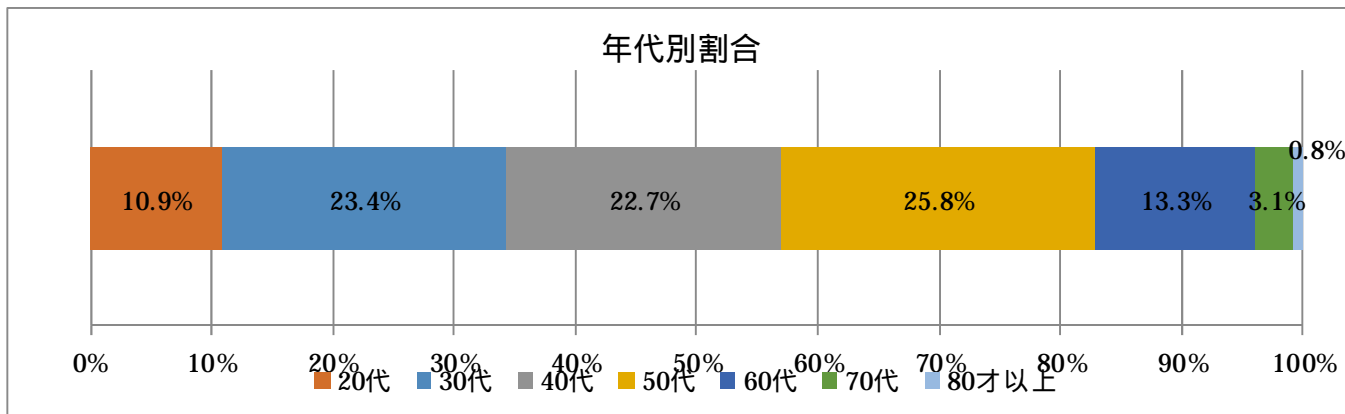
3 調査手法

アンケート調査用フォームURLを送信し、インターネットを活用しアンケートを実施した。

4 調査期間

平成27年4月17日（金）～4月27日（月）

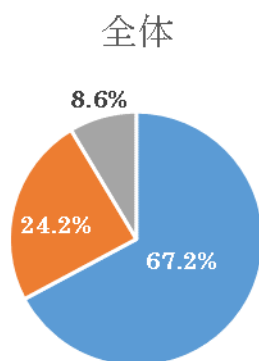
5 回答者の属性と子育て状況



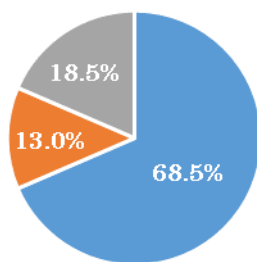
各質問の集計結果

1. 仕事や労働

質問：あなたは、現在仕事をしていますか？または、今は無職であるが、チャンスがあれば、働きたいと思いませんか？（回答数：128）



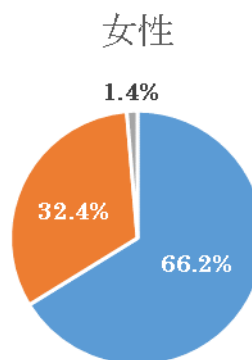
- 働いている
- 今は働いていないが、チャンスがあれば、働きたい
- 今も働いていないし、今後も働きたいとは思わない



- 働いている
- 今は働いていないが、チャンスがあれば、働きたい
- 今も働いていないし、今後も働きたいとは思わない

・「今も働いていないし、今後も働きたいとは思わない」と回答している男性の9割は、60代以上である。

- ・全体の7割近くが就労しており、「今は働いていないが、チャンスがあれば、働きたい」と合わせると、9割超が労働意欲を持っている。
- ・特に、女性は、98.6%という高い割合を示している。
- ・男性の18.5%が「今も働いていないし、今後も働きたいとは思わない」と回答している。

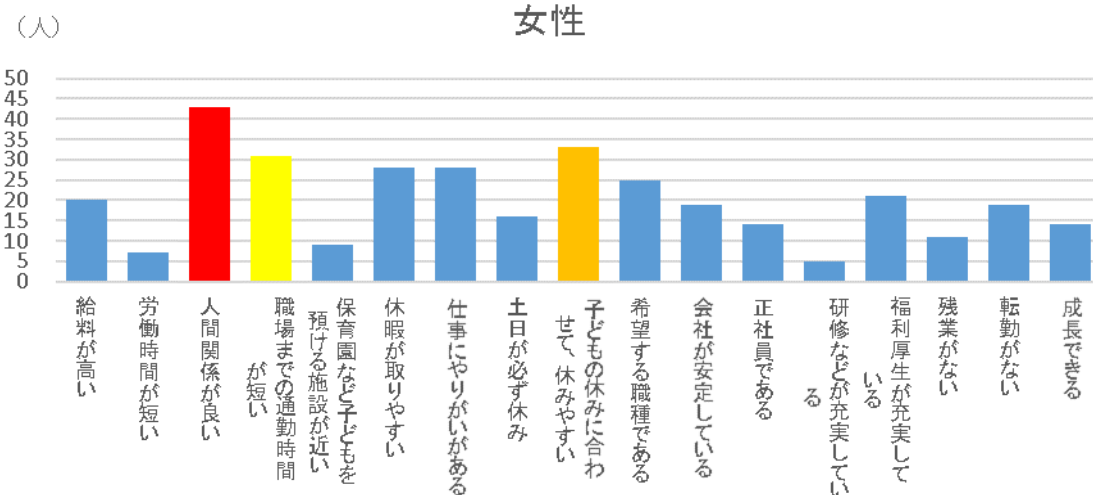
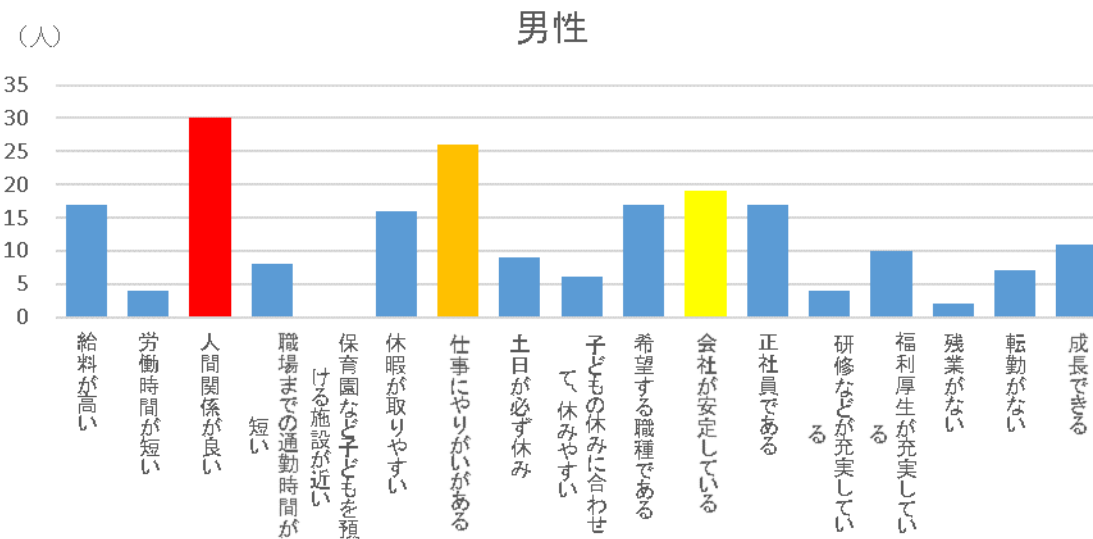
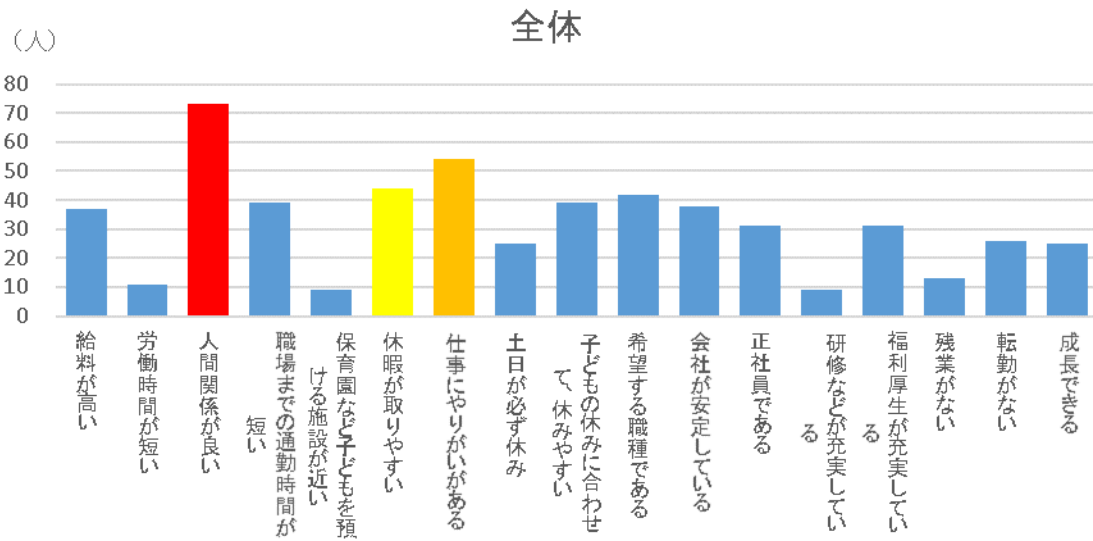


- 働いている
- 今は働いていないが、チャンスがあれば、働きたい
- 今も働いていないし、今後も働きたいとは思わない

・「今は働いていないが、チャンスがあれば、働きたい」と回答した女性の5割が30代である。

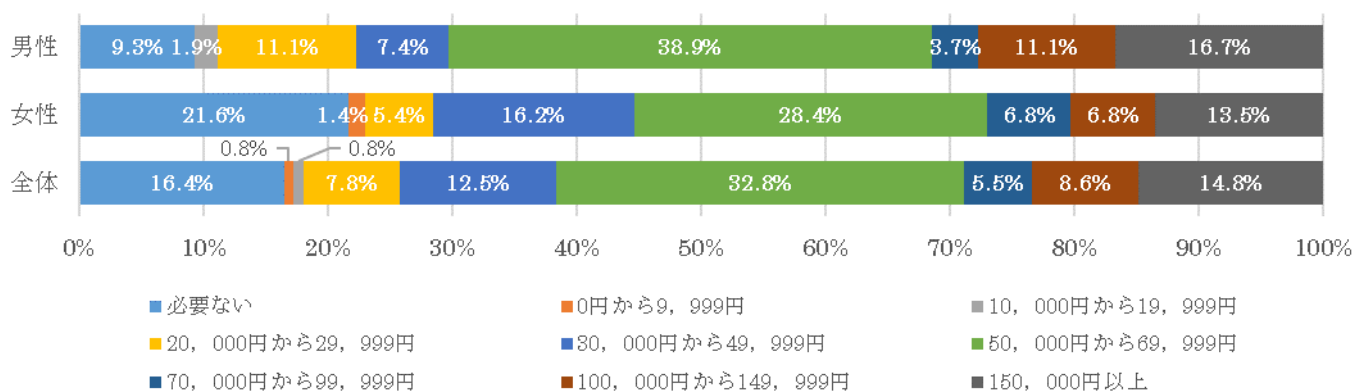
質問：あなたが自分自身の仕事を選ぶときに、重要だと思う基準を、5つまでお選びください。

(回答数：117)

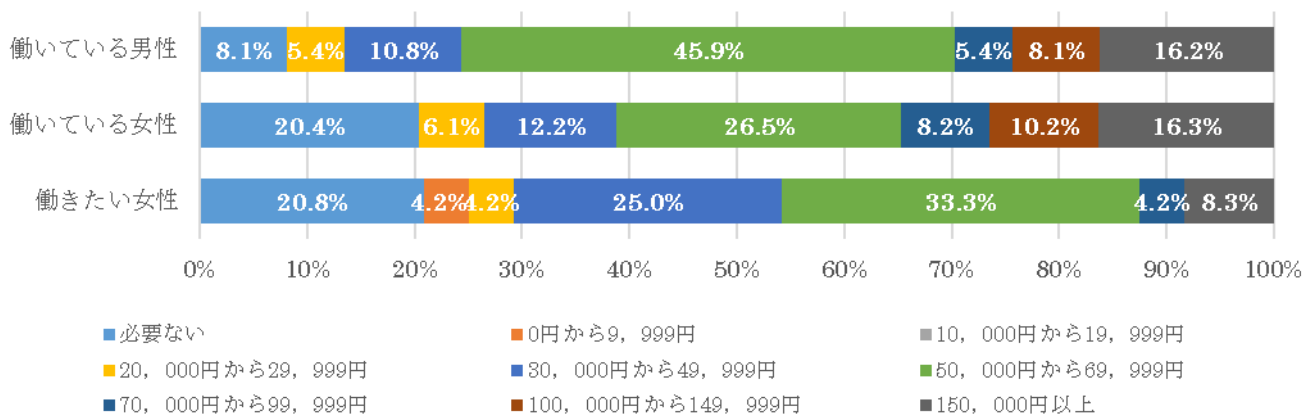


- ・男女とも、仕事を選ぶ際の基準として、「人間関係が良い」と回答しており、男性では7割弱、女性では6割弱が選択している。
- ・全体では「仕事にやりがいがある」という回答が、2番目に多く（5割弱）、男性でも2番目に多い（6割弱）が、女性では4番目（4割弱）である。
- ・全体では3番目に多い（4割弱）「休暇が取りやすい」という回答は、男性では7番目（4割弱）、女性では4番目（4割弱）である。
- ・男性の回答で3番目に多いのは、「会社が安定している」（4割強）である。「給料が高い」「正社員である」という回答がそれに続いていることから、家計維持が重視されていると言える。
- ・女性は、「子どもの休みに合わせて、休みやすい」が2番目に多く（5割弱）、「職場までの通勤時間が短い」が3番目に多い（4割強）、「休暇が取りやすい」がそれに続いている。

質問：月にお金が、あと、いくらあったら（自分を含む家族の）生活が楽になりますか。1つお選びください。（回答数：128）



- ・「50,000円から69,999円」という回答が、全体でも男女別でも最も多い。全体の3割強、男性では4割弱、女性では3割弱が選択している。
- ・全体では「必要ない」という回答が、2番目に多く（2割弱）、女性でも2番目に多い（2割強）が、男性では5番目（1割弱）である。
- ・全体では3番目に多い（1割強）、「150,000円以上」という回答は、男性でも2番目に多い（2割弱）が、女性では4番目（1割強）である。



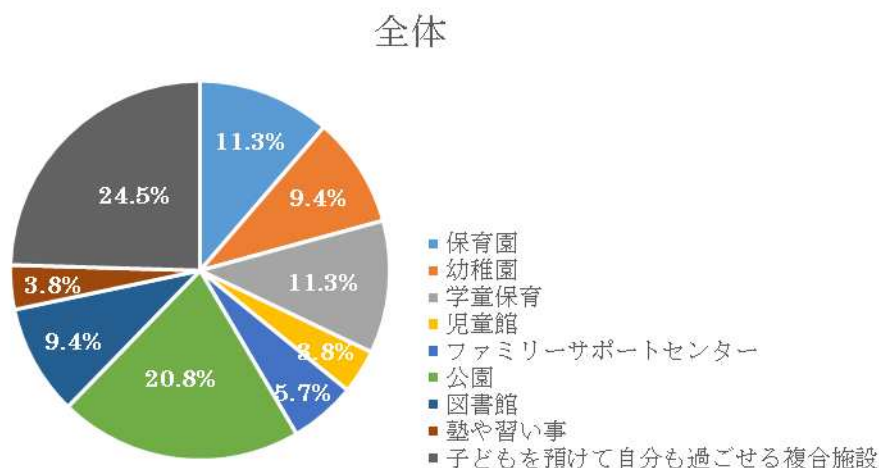
- ・「働いている」男女と、「今は働いていないが、チャンスがあれば、働きたい」女性を取り上げた場合でも、いずれも、「50,000円から69,999円」という回答が最も多い。特に、働いている男性は、45.9%が回答している。
- ・働いている男性で2番目に多い(16.2%)のは、「150,000円以上」という回答であり、働いている女性の16.3%も回答している。
- ・一方、働いている女性で2番目に多い(20.4%)回答は、「必要ない」であり、今は働いていないが、チャンスがあれば、働きたい女性の20.8%も回答している。
- ・今は働いていないが、チャンスがあれば、働きたい女性では、「10万円未満」の回答が91.7%を占める。

「仕事や労働」についての考察

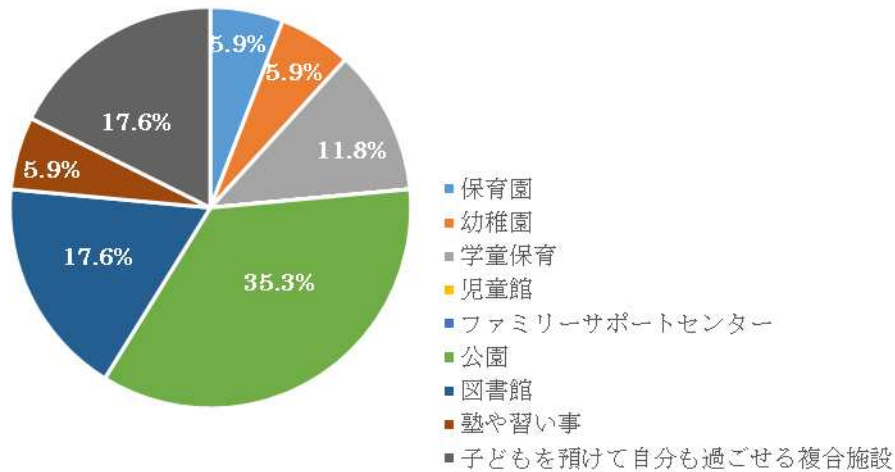
- 女性の労働意欲は高く、「今は働いていないが、チャンスがあれば、働きたい」と回答した女性の5割が30代であることから、子育て世代の女性の就労支援が求められていると考えられる。
- 女性は、仕事を選ぶ際の基準として、「子どもの休みに合わせて、休みやすい」「職場までの通勤時間が短い」「休暇が取りやすい」を、より重視しており、子育てや家事を主に担い、仕事との両立を重視していると考えられる。
- 「今は働いていないが、チャンスがあれば、働きたい女性」では、生活が楽になるために必要な金額は月に10万円未満との回答が9割を超えており、パートや短時間勤務などのニーズがあると考えられる。
- 男性は、仕事を選ぶ際の基準として、「会社が安定している」「給料が高い」「正社員である」を、重視しており、生活が楽になるためには、月に10万円以上必要だという回答が3割近くに上ることからも、所得水準の向上を求めていると考えられる。

2. 子育てや教育

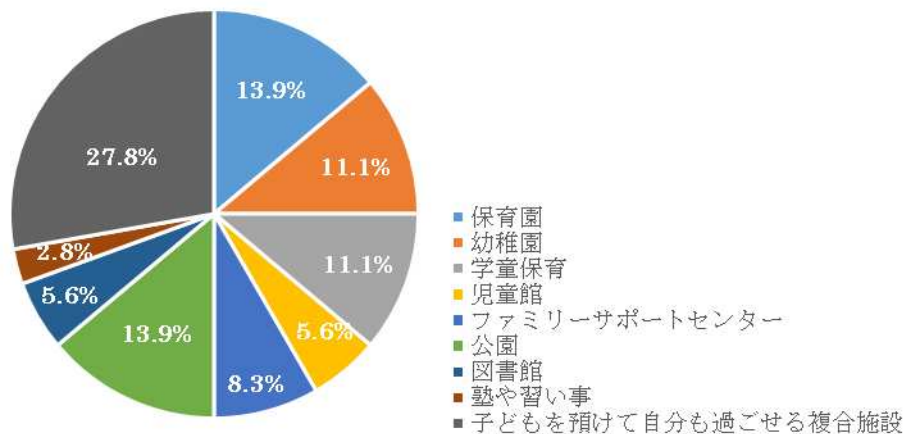
質問：あなたが、子どもの居場所として、今後、今よりも充実してほしいものはなんですか。1つお選びください。(回答数：53)



男性



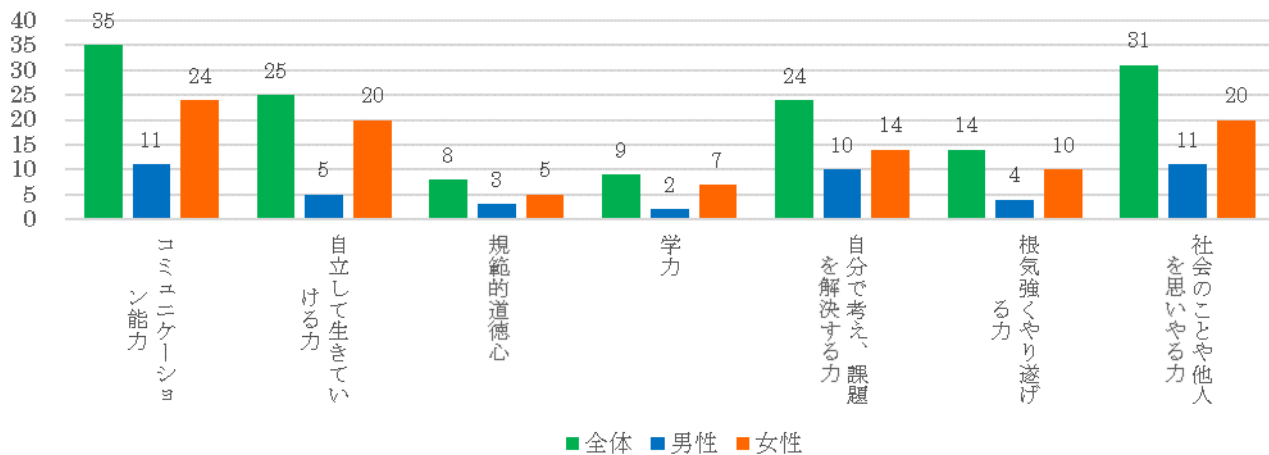
女性



- ・全体では、「子どもを預けて自分も過ごせる複合施設」が1番多く（2割強）、2番目が「公園」（約2割）、3番目（1割強）に「保育園」「学童保育」が並んでいる。
- ・男性は、「公園」が1番多く（4割弱）、2番目に、「図書館」と「子どもを預けて自分も過ごせる複合施設」（2割弱）が並んでいる。
- ・女性では、全体と同じく「子どもを預けて自分も過ごせる複合施設」が1番多く（3割弱）、「公園」「保育園」が、2番目（1割強）に並んでいる。
- ・「保育園」「幼稚園」「学童保育」「児童館」「ファミリーサポートセンター」といった子どもを預けられるところについては、全体の4割強、女性の5割が選んでいるが、男性は2割強（ファミリーサポートセンターは、0%）である。

質問：あなたが、子どもに身に付けてほしい能力はなんですか。3つまで、お選びください。

(回答数：53)



- ・「コミュニケーション能力」という回答が、全体でも男女別でも最も多い。全体の7割弱、男性では6割強、女性では7割弱が選択している。
- ・2番目は、「社会のことや他人を思いやる力」で、全体および男女共通である。全体の6割弱、男性では6割強、女性では6割弱が選択している。
- ・全体および女性では、「自立して生きていける力」が3番目に多く、全体の5割弱、女性の6割弱が回答している。男性では4番目（3割弱）である。
- ・男性で3番目に多い（6割弱）「自分で考え、課題を解決する力」は、全体および女性では4番目であり、全体の5割弱、女性の4割弱が選択している。

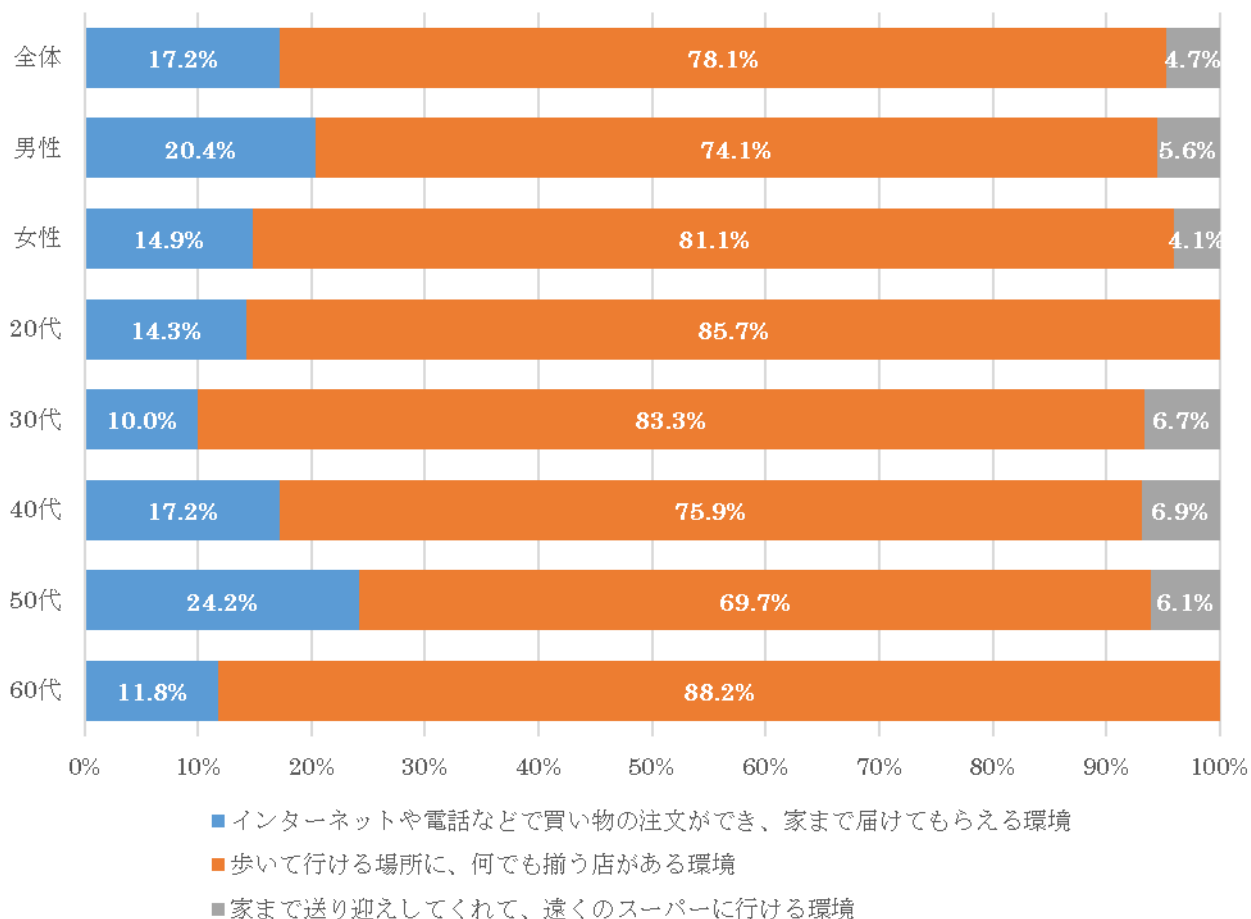
「子育てや教育」についての考察

- 子どもの居場所としては、「子どもを預けて自分も過ごせる複合施設」と「公園」の充実が求められている。「公園」については、女性に比べ、男性の希望が高い結果となったが、父親は、屋外での活動を望む傾向が表れたものと考えられる。
- 「保育園」「幼稚園」「学童保育」「児童館」「ファミリーサポートセンター」は、充実を求める意向について、男女で差があるが、家庭の中で、子育てに対する女性と男性が担う役割を反映した結果であると考えられる。
- 子どもたちに身に付けてほしい能力として、「コミュニケーション能力」「社会のことや他人を思いやる力」「自立して生きていける力」「自分で考え、課題を解決する力」が高い率となったのは、質問内容を相対的に判断したもので、「主体的・積極的に判断したり、行動できる大人になることを望んでいる。」と考えられる。

3. 交通やまちづくり

質問：日常生活の買い物のために、最も望ましい環境はどれですか。1つお選びください。

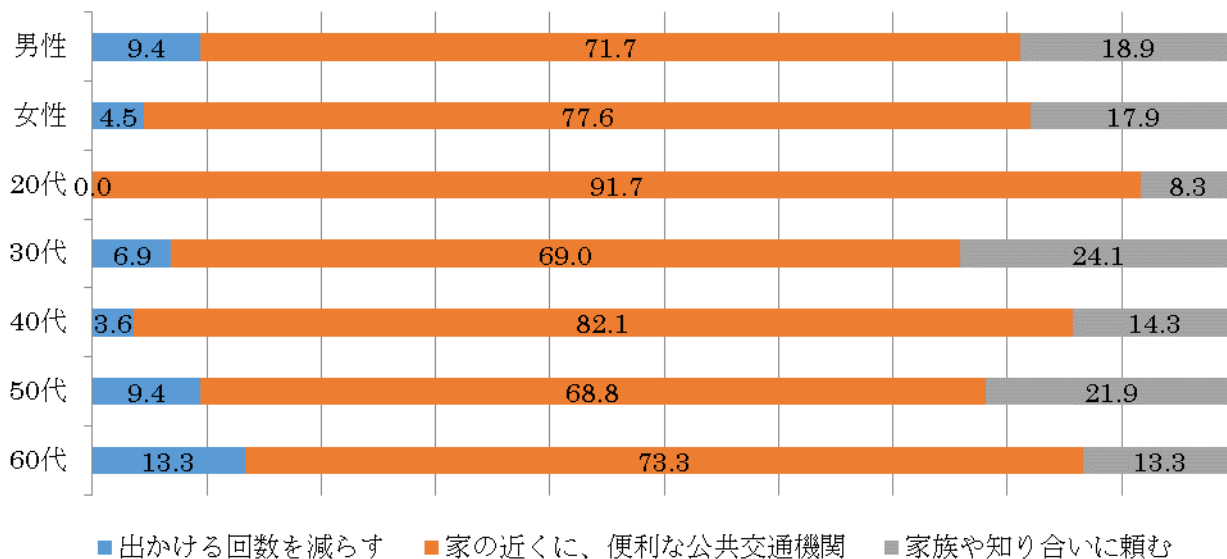
(回答数：128)



- ・「歩いて行ける場所に、何でも揃う店がある環境」という回答が、全体でも男女別でも最も多い。全体の8割弱、男性では7割強、女性では8割強が選択している。
- ・2番目は、「インターネットや電話などで買い物の注文ができ、家まで届けてもらえる環境」であり、全体および男女共通である。全体の2割弱、男性では2割強、女性では1割強が選択している。
- ・3番目は、全体および男女共通で「家まで送り迎えしてくれて、遠くのスーパーに行ける環境」である。いずれも5%前後である。
- ・「家まで送り迎えしてくれて、遠くのスーパーに行ける環境」は、20代や60代は、回答数がゼロであった。
- ・40代では2割弱、50代では2割強が、「インターネットや電話などで買い物の注文ができ、家まで届けてもらえる環境」を希望しており、60代でも1割を超えている。

質問：年を取り、車に乗れなくなったらどうしたいと思いますか。1つお選びください。

(回答数：120)

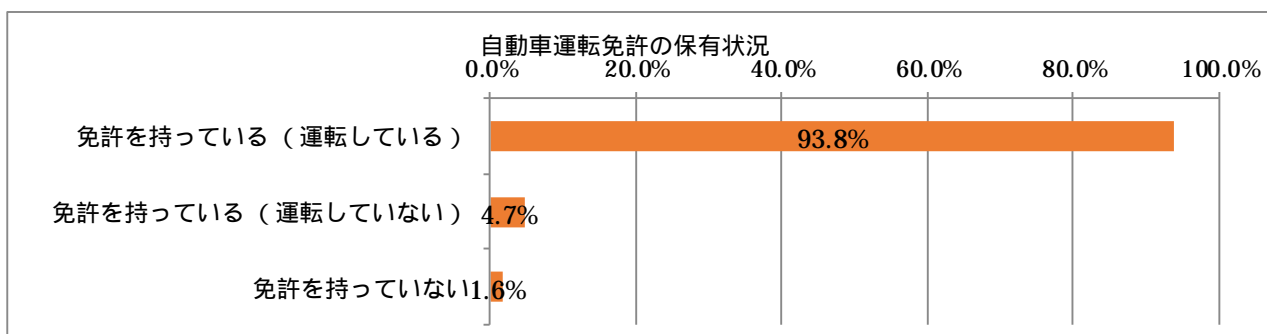


- ・「できるだけ家の近くに、便利な公共交通機関（バスやデマンドタクシー等）がほしい」という回答が、全体でも男女別でも最も多い。全体の7割弱、男性では7割強、女性では8割弱が選択している。
- ・2番目は、「家族や知り合いに頼んで、送迎したり一緒に行ったりしてもらいたい」であり、全体および男女共通である。いずれも2割弱が選択している。
- ・3番目は、全体および男女共通で「出かける回数を減らす」である。いずれも1割未満である。
- ・60代は、「出かける回数を減らす」が他の世代に比べて高い。

「交通やまちづくり」についての考察

- 「歩いて行ける場所に、何でも揃う店がある環境」が強く求められている。
- 40代以上で「インターネットや電話などで買い物の注文ができ、家まで届けてもらえる環境」が一定の割合を占めており、インターネットが生活の中で、果たす役割が大きくなってきていることが推察される。
- 車に乗れなくなったら「できるだけ家の近くに、便利な公共交通機関（バスやデマンドタクシー等）がほしい」という回答が7割を超えており、交通手段の確保は重要な課題である。
- 60代において、「出かける回数を減らす」が全体に比べて高いことから、高齢者の健康づくりや人との交流などの面からも、交通手段の確保が重要であると考えられる。

(参考)



市の施策に対する市民の意識調査結果

調査内容

地区別・分野別懇談会およびグループインタビューの結果から、市民ニーズに基づいて導き出した9つの施策について、市民が望み、かつ、独自性が高く、かつ、他の自治体に住んでいる人に勧めたいものを調査した。

結果は以下の通りである。

	施 策	評価スコア
第1位	子どもを育てながら働きやすい環境がある	8.65
第2位	公的で安全な子どもの居場所がたくさんある	8.57
第3位	便利で使いやすい公共交通が地域の中にある	8.44
第4位	生活を支える民間サービスを手軽に利用できる制度やしきみがある	8.43
第5位	地域や家族みんなで子育てを支えてくれる	8.36
第6位	市からの情報提供がていねいでとてもわかりやすい	8.34
第7位	地域が共に助け合い自立していけるしきみがある	8.24
第8位	田舎らしい生活や習慣が尊重され安心して暮らすことができる	8.15
第9位	子育て関連の施設が一カ所にまとまっている	7.98

【参考：各評価指標のスコア】

施策	利用意向	順位	独自性	順位	推奨意向	順位
子どもを育てながら働きやすい環境がある	3.63	2	2.55	3	2.47	1
公的で安全な子どもの居場所がたくさんある	3.65	1	2.47	9	2.45	2
便利で使いやすい公共交通が地域の中にある	3.60	3	2.48	7	2.36	5
生活を支える民間サービスを手軽に利用できる制度やしきみがある	3.58	4	2.49	4	2.36	6
地域や家族みんなで子育てを支えてくれる	3.44	6	2.48	7	2.44	3
市からの情報提供がていねいでとてもわかりやすい	3.50	5	2.49	4	2.35	7
地域が共に助け合い自立していけるしきみがある	3.32	7	2.58	2	2.34	8
田舎らしい生活や習慣が尊重され安心して暮らすことができる	3.28	8	2.49	4	2.38	4
子育て関連の施設が一カ所にまとまっている	3.05	9	2.66	1	2.27	9

* 「利用意向」は、「非常になつてほしい」を4点、「なつてほしい」を3点、「なつてほしいと思わない」を2点、「全くなつてほしいと思わない」を1点として、それぞれの回答数に点数を乗じた合計を、回答数で除したもの。

* 「独自性」は、「全く市町村で実現されていない」を4点、「あまり多くの市町村で実現されていない」を3点、「多くの市町村で実現されている」を2点、「非常に多くの市町村で実現されている」を1点として、それぞれの回答数に点数を乗じた合計を、回答数で除したもの。

* 「推奨意向」は、「非常に自慢したい」を4点、「自慢したい」を3点、「自慢したいと思わない」を2点、「全く自慢したいと思わない」を1点として、それぞれの回答数に点数を乗じた合計を、回答数で除したもの。

* 評価スコアは、各施策の（「利用意向」＋「独自性」＋「推奨意向」）で算出。